

2027 年度入試
(入試実施年度：2026 年度)

東京大学大学院情報理工学系研究科
コンピュータ科学専攻

修士課程
博士課程

入 試 案 内 書

問い合わせ先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院情報理工学系研究科
コンピュータ科学専攻事務室

EMAIL: admissions@is.s.u-tokyo.ac.jp

TEL: 03-5841-4111

入試案内ウェブページ：

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/admission.shtml>

注意：本冊子以外に、本研究科各募集要項についても必ず目を通すこと。

専攻の概要

コンピュータ科学専攻は、今日の社会において必要不可欠な情報技術をささえる基礎理論、コンピュータシステムとしての実装、そしてそれらの自然科学への応用について幅広く研究・教育を行っている。特に、情報技術を道具として利用することにとどまらず、情報や計算そのものを研究対象としていることを特徴としている。具体的には、離散数学、数値計算、プログラミング言語、アルゴリズム、量子計算、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、ソフトウェア、機械学習、人工知能、バイオインフォマティクス、計算科学、自然言語処理、情報検索、コンピュータビジョン、ヒューマン・コンピュータインタラクション、グラフィックス等の分野において、最先端の研究を行っている。研究・教育内容の詳細については、別途配布する「コンピュータ科学専攻各教員研究室紹介」を参照すること。

修士課程

(1) 概要

- A. 本専攻は夏入試を実施する。冬入試では修士課程学生を募集しない。
- B. 本学理学部情報科学科以外からの出願者は、願書提出前に志望研究室の教員少なくとも1名に連絡を取ることが望ましい。
- C. 別途配布する「コンピュータ科学専攻各教員研究室紹介」を参照して志望研究室を最大で第6希望まで出願システム上で入力すること。また、8ページの記載要領に従って、研究計画書を作成して出願システム上で提出すること。

(2) 試験日程

(2.1) 夏入試

① 書類選考

出願書類をもとに書類選考が行われる。書類選考の合否結果の通知に関しては研究科募集要項で確認すること。書類選考で不合格となった者は、筆記試験および口述試験の受験資格を失う。

② 筆記試験

試験日	試験時間	場所	試験科目
2026年8月20日(木)	本研究科募集要項を参照すること		数学
2026年8月24日(月)	13:00-16:00	工学部8号館地下83講義室	専門科目

備考:

- ✓ 数学の筆記試験については、本研究科募集要項を参照すること。
- ✓ 専門科目の筆記試験においては、以下の科目から4問程度出題する。全問に解答すること。
情報数学、数値計算、離散数学、アルゴリズムと計算量、形式言語、論理学、プログラミング言語論、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、デジタル回路、機械学習

以下のウェブサイトに掲載する書籍リストを参考に事前に専門科目を学習すること。

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/references.shtml>

- ✓ 出題にはCまたはJava言語を使用する場合がある。
- ✓ 上記の専門科目の試験時間は、答案回収等の時間を含むおおよその試験時間帯を示すものである。試験実施方法および試験時間の詳細は、7月下旬に書類選考合格者に通知する。

③ 口述試験

試験日	試験時間	場所	試験科目
2026年8月27日(木)	10:00-17:00	オンライン	専門科目

備考:

- ✓ 上記の試験時間は待機時間を含むおおよその試験時間帯を示すものである。集合時間や場所などの詳細は試験日まで通知する。

博士課程および博士課程（社会人特別選抜）

(1) 概要

- A. 本専攻には夏入試と冬入試がある。夏入試と冬入試とでは、日程と試験の実施方法が異なる。
- B. 志望者は、願書提出前に必ず志望教員に連絡をとり、研究計画を提示すること。
- C. 別途配布する「コンピュータ科学専攻各教員研究室紹介」を参照して、志望教員名を出願システム上の「志望指導教員」の欄に入力すること。また、8ページの記載要領に従い、研究計画書を作成して出願システム上で提出すること。
- D. 夏入試においては、以下の条件が適用される。
 - I. 本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者(修了見込みの者を含む)は以下を免除する。
 - ✓ TOEFL スコアの提出
 - ✓ 筆記試験
- E. 冬入試においては、以下の条件が適用される。
 - I. 願書とともに推薦書1通を提出すること。推薦書は推薦者が直接提出すること。推薦者には、志望者の現在の指導教員など、志望者のことをよく知る有識者を選ぶことが望ましい。ただし、本専攻の教員を推薦者を選ぶことはできない。
 - II. 本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者(修了見込みの者を含む)は以下を免除する。
 - ✓ TOEFL スコアの提出
 - ✓ 推薦書の提出
 - ✓ 口述試験1

(2) 試験日程

(2.1) 夏入試

① 書類選考

出願書類をもとに書類選考が行われる。書類選考の可否結果については2026年7月21日(火)の15時から3日間(72時間)、以下のウェブサイトに掲載される。事前に送付される受験票に記載の受験番号で確認すること。

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/admission.shtml>

書類選考で不合格となった者は、筆記試験および口述試験の受験資格を失う。

② 筆記試験

試験日	試験時間	場所	試験科目
2026年8月24日(月)	13:00-16:00	工学部8号館地下83講義室	専門科目

備考:

- ✓ 専門科目の筆記試験においては、以下の科目から4問程度出題する。全問に解答すること。
情報数学、数値計算、離散数学、アルゴリズムと計算量、形式言語、論理学、
プログラミング言語論、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、

デジタル回路、機械学習

以下のウェブサイトに掲載する書籍リストを参考に事前に専門科目を学習すること。

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/references.shtml>

- ✓ 出題には C または Java 言語を使用する場合がある。
- ✓ 上記の専門科目の試験時間は、答案回収等の時間を含むおおよその試験時間帯を示すものである。試験実施方法および試験時間の詳細は、7月下旬に書類選考合格者に通知する。

③ 口述試験

試験日	試験時間	場所	試験科目
2026年8月26日(水)	10:00-17:00	オンライン	専門科目

備考:

- ✓ 上記の試験時間は待機時間を含むおおよその試験時間帯を示すものである。集合時間や場所などの詳細は試験日までに通知する。本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻より進学する者については、別途案内される日程および方式で試験を行う場合がある。
- ✓ 修士の学位論文又はこれに代わるものについての概要(12分)および博士課程での研究計画(3分)をプレゼンテーションすること。修士課程修了後の研究成果がある者はそれを含めてよい。プレゼンテーション用のPCは受験者が準備すること。
- ✓ 修士論文(日本語・英語以外でもよい)および関連する既発表論文がある場合は、そのPDFファイル(既発表論文については2~3本程度まで)を事前に提出すること。提出方法は後日通知する。口述試験実施時に修士論文を未執筆の者は、それに代わるものとして修士論文計画書(タイトルページ・参考文献を除く本文がA4で6ページ以上、書式自由。研究目的、方法、これまでに得られた成果等について英語でまとめたもの)を提出すること。修士論文未執筆でかつ執筆の予定がない者(修士の学位以外の出願資格で出願する者等)は、提出物についてあらかじめ専攻事務に問い合わせること。

(2.2) 冬入試

① 書類選考

出願書類をもとに書類選考が行われる。書類選考の可否結果については2026年12月18日(金)の15時から5日間(120時間)、以下のウェブサイトに掲載される。事前に送付される受験票に記載の受験番号で確認すること。

https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/admission_e.shtml

書類選考で不合格となった者は、以降の試験の受験資格を失う。

② 口述試験1

試験日	試験時間	場所	試験科目
2027年2月2日(火) ～ 2月3日(水)	10:00-17:00	本郷キャンパス	専門科目

備考:

- ✓ 上記の試験時間は待機時間を含むおおよその試験時間帯を示すものである。集合時間や場所などの詳細は試験日までに通知する。実施場所をオンラインに変更する可能性もある。

- ✓ 以下の専門科目に関する技術的な質疑応答を行う。解答にはホワイトボードや黒板等を用いてもよい。

情報数学、数値計算、離散数学、アルゴリズムと計算量、形式言語、論理学、プログラミング言語論、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、デジタル回路、機械学習

以下のウェブサイトに掲載する書籍リストを参考に事前に専門科目を学習すること。

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/cs/references.shtml>

③ 口述試験 2

研究対象の分野に関する技術的な質疑応答に加え、以下のとおり、修士の学位論文又はこれに代わるものについての口頭発表による試験を行う。口頭発表による試験は、上記の口述試験1とあわせて行う。ただし、本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻より進学するものは、別途案内される日程および方式で試験を行う場合がある。

- I. 修士の学位論文又はこれに代わるものについての概要 (12 分) および博士課程での研究計画 (3 分) をプレゼンテーションすること。修士課程修了後の研究成果がある者はそれを含めてよい。プレゼンテーション用の PC は受験者が準備すること。
- II. 修士論文 (日本語・英語以外でもよい) および関連する既発表論文がある場合は、その PDF ファイル (既発表論文については 2~3 本程度まで) を事前に提出すること。提出方法は後日通知する。口述試験実施時に修士論文を未執筆の者は、それに代わるものとして修士論文計画書 (タイトルページ・参考文献を除く本文が A4 で 6 ページ以上、書式自由。研究目的、方法、これまでに得られた成果等について英語でまとめたもの) を提出すること。修士論文未執筆でかつ執筆の予定がない者 (修士の学位以外の出願資格で出願する者等) は、提出物についてあらかじめ専攻事務に問い合わせること。

研究計画書の記載要領

修士課程志願者用

大学院に進学してから取り組みたい研究内容についてまとめ、下記の例の様式に従い作成し、入学願書と一緒に提出すること。A4用紙2ページ（参考文献を除く）に日本語または英語で書くこと。剽窃をしてはならない。

<p>研究計画書 氏名：〇〇 〇〇</p> <p>コンピュータの進化は新しい情報処理を可能にしている。しかし～においては～という課題が残されている。そこで私は修士課程に進学し、以下の観点からこの課題に取り組みたい。</p> <p>（例えば、研究に必要な専門知識や関連文献、プログラミング技術等の観点から詳述すること）</p> <p>（1）・・・</p> <p>参考文献 [1] ・・・</p> <p>（特筆すべき実績があればあわせて記すこと） 特筆すべき実績： ...</p>
--

博士課程・博士課程[社会人特別選抜]志願者用

これまでの研究内容、主な論文・学会発表リスト、および博士課程での研究計画を、下記の例に従い、A4用紙4ページ（参考文献を除く）で日本語または英語で作成し（必要に応じて図などを用いわかりやすく説明すること）、入学願書と一緒に提出すること。剽窃をしてはならない。

<p>研究計画書 氏名：〇〇 〇〇</p> <p>1. これまでの研究内容 1.1 連立一次方程式の高速アルゴリズム[1] 本研究では科学技術シミュレーションで解く必要のある大規模な連立一次方程式を… 1.2 在職中の主な業績 （社会人特別選抜での受験者は、在職中の主な業績について項目ごとに簡潔にまとめること）</p> <p>2. 主な論文・学会発表リスト [1] 計算 機子、「連立一次方程式の高速アルゴリズム」、修士論文、東京大学大学院情報理工学系研究科（2011） [2] 計算 機子、指導 教子、「連立一次方程式の高速アルゴリズム」、某学会 2011 年度年会、予稿集 pp. 101-102（2011）</p> <p>3. 博士課程での研究計画 博士課程においてはさらに大規模な連立一次方程式を高速に解くため…</p> <p>参考文献 [1] ・・・</p>

2027 年度入試（2026 年度実施）
東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻
修士課程・博士課程入学試験 会場試験（専門科目）受験者注意事項

1. 試験日時

この案内書に記載の「試験日程」を参照すること。

2. 試験場

東京大学 本郷キャンパス（東京都文京区本郷 7-3-1）

地下鉄：丸の内線、大江戸線「本郷三丁目」、千代田線「根津」、
南北線「東大前」、三田線「春日」

バス：都営バス「東大正門前」、「東大構内」下車

試験場案内図を参照すること。

受験者は、試験開始 30 分前までに所定の試験室（この案内書に記載の「試験日程」を参照）に入室すること。定刻に遅れた場合は、各試験監督者に申し出て指示を仰ぐこと。

3. 携行品

- (1) 受験票
 - (2) 筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、万年筆又はボールペン、ただし、いずれも黒色に限る）、消しゴム、鉛筆削り（卓上式は不可）、時計（計時機能だけのもの）を必ず持参すること。
- 注：試験時間中、携帯電話の電源は OFF とする。また電子機器を使用したり身につけてはならない。

4. 試験時の留意事項

- (1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室を許さない。
- (2) 試験時間中の一時退室も原則としてできない。試験中気分が悪くなったりトイレに行きたくなったりしたときは申し出ること。
- (3) 試験時間中、受験票を常に机の上に置くこと。
- (4) 解答用紙ごとに受験番号を記入すること。氏名は書いてはならない。解答は、それぞれの所定の用紙に記入すること。不足の場合は、裏面に記入すること。
- (5) 解答用紙・問題冊子は、持ち帰ってはならない。
- (6) 筆記用具、鉛筆削り、消しゴム、時計以外の用具は一切使用しないこと。

以上

東京大学（東京都文京区本郷 7-3-1）試験場案内図

情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻



令和2(2020)年4月版

- 地下鉄：丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」、
千代田線「根津」、
南北線「東大前」、
三田線「春日」
バス：都営バス「東大正門前」、「東大構内」下車

コンピュータ科学専攻独自の提出書類要件

研究科募集要項に記載の、研究科共通の提出書類要件もあわせて確認すること。

専攻独自の提出書類一覧

	夏入試		冬入試	
	提出書類	対象者	提出書類	対象者
修士課程	研究計画書 (A4用紙2ページ、日本語または英語。8ページの記載要領に従うこと)	全員	/	/
博士課程	研究計画書 (A4用紙4ページ、日本語または英語。8ページの記載要領に従うこと)	全員	研究計画書 (A4用紙4ページ、日本語または英語。8ページに記載要領に従うこと)	全員
			推薦書1通(コンピュータ科学専攻所属教員のものは不可)	本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者(修了予定者を含む)は免除。以上の者以外は全員提出。
(社会人特別選抜) 博士課程	研究計画書 (A4用紙4ページ、日本語または英語。8ページの記載要領に従うこと)	全員	研究計画書 (A4用紙4ページ、日本語または英語。8ページの記載要領に従うこと)	全員
			推薦書1通(コンピュータ科学専攻所属教員のものは不可)	本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は免除。以上の者以外は全員提出。

TOEFL スコア提出要件一覧

	夏入試	冬入試
修士課程	全員提出	/
博士課程	本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者(修了予定者を含む)は提出免除。以上の者以外は全員提出。	本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者(修了予定者を含む)は提出免除。以上の者以外は全員提出。
博士課程 (社会人特別選抜)	本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は提出免除。以上の者以外は全員提出。	本学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・同理学系研究科情報科学専攻出身者は提出免除。以上の者以外は全員提出。